

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
585	環境保全対策事業	環境保全対策事業	01	01	一般会計
26	環境問題などに協働して取り組む		02	02	衛生費
			01	01	保健衛生費
			14	14	環境対策費
		伊賀支所 生活環境課	101	101	環境保全対策事業費
		川本 哲	細目	01	環境保全対策事業費
		連絡先	細々目		
		45-9104			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
	ごみの不法投棄を防止するため、地域と連携して監視及び啓発する。一方投棄物の撤去処分に取り組む。	地域住民が不法投棄の防止や環境保全に対する意識の向上が図れる。					
本事業内容	①伊賀支所内各課と共同で定期的な環境パトロールの実施や不法投棄の監視及び不法投棄物の撤去処分 ②不法投棄民間監視委員(各区1名)による地区内のパトロール及び不法投棄物の撤去処分 ③年1回の【環境美化の日】を設けて管内各区による不法投棄物の撤去処分 ④空き地の雑草等除去勧告通知 ⑤水質検査(公害防止協定に伴う河川水・井戸水の毎月1回・10箇所の採水作業) ⑥地域公害防止の運営のため公害対策協議会へ補助(壬生野地区公害防止協議会・ゴルフ場 I GA公害防止協議会)						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	伊賀市環境都市宣言

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	1	1	1
人件費合計(A)	7,200	7,200	7,200
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	3,104	3,110	3,100
委託料	458		
業務嘱託員料	1,690	2,144	2,144
不法投棄民間	370	370	370
その他	586	596	586
合計(A+B)	10,304	10,310	10,300
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	10,304	10,310	10,300
上記①～③に関する特記事項			
環境対策で業務補助員を嘱託職員として1名を雇用しています。			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
環境パトロール	日数	36	36	36			
「環境美化の日」不法投棄物処分量(可燃、金属ビン類等)	kg	4680	5000	5000			
不法投棄民間監視委員による撤去処分							
河川水及び井戸水の採水	回	12	12	12			
空き地の雑草等の除去勧告通知	件	804	900	1000			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
「環境美化の日」不法投棄物処分量(可燃、金属ビン類等)	住民による環境の改善活動による処分数量を指標とした。	kg	4680 目標 (5000)	5000	5000
空き地の雑草等除去勧告通知数	空き地の雑草等除去勧告通知数を分母とし、勧告による雑草除去数を分子とする対象者の実施率(雑草除去件数/勧告通知件数)	%	41.9 目標 (50)	45	50

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

①空き地の雑草等除去に関する条例に基づき・空き地の雑草の確認・土地所有者の確認・土地所有者への雑草等除去勧告通知・雑草除去の確認・雑草等除去命令書通知等、一連の作業をすべて行うには時間と人員が必要となることから、対象地区を絞り現在の職員で出来る範囲で行っています。
 ②【環境美化の日】の不法投棄物の処分については、年々別途処分費が掛かる投棄物(家電4品目・パソコン・タイヤ等)が増え対応に苦慮している。

評価	必要性	4	環境保全のための支所予算及び人的配備が確保できれば、さらなる環境満足度の向上が図れる。	総合評価
	有効性	4		A
	達成度	4		
	効率性	4		